



正面エントランス前に並び、笑顔でゲストを迎えるコンシェルジュとベルスタッフ



レセプション前のクラシカルな雰囲気のロビーラウンジ



ミシュラン1ツ星のメインダイニング「Restaurant Mark's」の気品ある店内



エントランスホールに飾られたホテルの象徴である「扇」



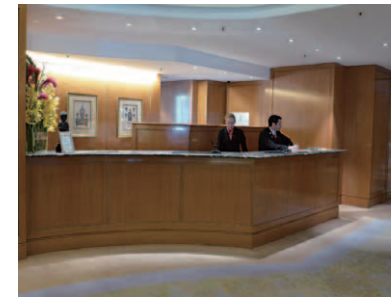
筆者 小原康裕

ホテルジャーナリスト。慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年Munich Re入社。85年築地原健株代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。  
※現在、著者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。  
www.jhrca.com/worldhotel

# マンダリン オリエンタル、ミュンヘン Mandarin Oriental, Munich

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



シンプル＆モダンなレセプションデスク



客室から望むミュンヘン中心部の美しい風景



コンテンポラリー感覚のシッティングエリア



広いバスルームからベッドルーム方向を見る



ネオ・ルネッサンス様式を持つ白亜のホテル「Mandarin Oriental, Munich」の正面エントランス。オリジナルの建物は1880年に市のオペラハウスとして建てられた



ビーダーマイヤー様式の特徴的な意匠を施した「Mandarin Room」。ホテルのトップフロアに位置し、天井から斜めに傾斜する壁面の窓枠には優美なドレープカーテンが掛かる



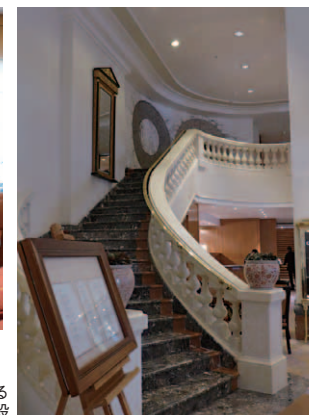
ツインの獅子が置かれたルーフトッププール



旧ラファエルホテルの面影を色濃く残す正面ファサード



ロビーフロアにある落ち着いたラウンジ・バー「Lobby Lounge & Mandarin Bar」



メインダイニングに上がる優美な曲線を描く階段

前身は「ミュンヘンの華」として愛されてきた珠玉のホテル、旧ラファエルホテルである。オリジナルの建物は1880年に市のオペラハウスとして建てられ、ネオ・ルネッサンス様式を持つ白亜のホテルは今も市民の自慢の一つだ。アマンの創始者エイドリアン・ゼッカーの盟友である、ジョージ・ラファエル氏が率いる「Raphael Group」をマンダリン・オリエンタル・グループが2000年に買収し、「Mandarin Oriental, Munich」(以下、MO/MU)の名称で傘下に置き念願の開業を果たした。

ミュンヘンは国王ルードヴィヒのお膝元として発展し、バイエルン州の中心地としてドイツでも屈指の文化、芸術の薫り高き都である。当然、多くの高級ホテルチェーンも進出しており、中でもバイエルン王家の迎賓館として建てられ、現在もフォルクハルト一族が所有する「Bayerischer Hof」、ケンピンスキーホテル・グループの旗艦ホテル「Vier Jahreszeiten」の2軒が伝統と格式の筆頭格であろう。しかし、MO/MUはそれら歴史的グランドホテルとは一線を画し、小規模ながらその麗しき佇まいは別格の存在と言える。

MO/MUは48の客室に25のスイートを合わせても、全73室という小規模のゲストルーム構成だ。筆者にアサインされた部屋は特徴的なデザインを表現した「Mandarin Room」で、約50㎡の広さを持つビーダーマイヤー様式の居心地の良い部屋だ。ホテルのトップフロアに位置し、天井から斜めに傾斜する壁面の窓枠には優美なドレープが掛かり、窓ガラスが接する部分は自動開閉のシェードが取り付けられている。日本のホテルでは体験することはないヨーロッパならではのエレガントな空間だ。この客室フロアのすぐ上は屋上部分になっており、小粋なルーフトッププールが用意されている。仏像や獅子などが置かれた東洋趣味のデザインコンセプトで、プール脇のレストラン「China Moon Roof Terrace」からはミュンヘンの大展望が得られ遅くまで賑わっている。レストラン・バーでは、ミシュラン1ツ星のメインダイニング「Restaurant Mark's」の存在が大きい。優美な曲線を描く階段を上がって行くときから前奏曲が始まり、シェフのSimon Larese氏の奏でる料理の交響曲にミュンヘンのセレブリティの評判は高い。ロビーフロアには落ち着いたラウンジ「Lobby Lounge and Mandarin Bar」があり、レストラン「Bistro MO」ではブラスリースタイルで気軽に食事を楽しめる。スパでは「Amour Fou Spa de Beaute」のサロンを館内に用意してゲストから高評価を得ている。

MO/MUは高級ブランド店が軒を並べる華やかな大通り「Maximilian Strasse」から一步入った閑静な場所にあり、有名なビアホール「Hofbrauhaus」や市庁舎前広場の「Marienplatz」も至近距離にある。また、メルセデスの高級自転車も無料で貸し出しをしており、付近の散策にはありがたいサービスだ。バイエルンの古都ミュンヘンの地に佇む美しいホテルは、まさに「ミュンヘンの貴婦人」と言えよう。